

今試に圖按の研究として、種類を併記すれば

建築圖按

裝飾品圖按

染織品圖按

陶器漆器品圖按

木工品圖按

金屬品圖按

等であるが、尙是は細別することが出来る。(控轉載)

水彩畫の紙 (その三)

ワットマンは、濕氣のためにドーサが抜けて、繪具を着けると班點を生ずることがある、それ故紙には年號が漉き込んである。今年出來た紙でも保存が悪いと使用に耐えぬ、ブリキか紙の筒へ入れて濕氣のない處へ置くとよい、階下よりは二階がよい、火鉢などのある上の天井へ吊して置くのもよい、筒の中へ石灰を紙に包んで入れて置てもよい、時々天氣のよい時出して日光に晒すとよい、保存さへよくば三年や四年は大丈夫である。

ワットマンのドーサの抜けたのを通常風を引くといふ。

O W は風を引かぬといふがアテにならぬ、ワットマンよりは保存期が永いがやはり風を引く。

紙は凡て斤量で賣買するものであるが、ロンドンあたりでワットマンを買ふと日本のより小さい、書學紙同形でそして紙が厚い。日本に來てゐるのは圖引用だといふた人がある。

スケッチングプロックといふて、紙を幾枚も重ねて四邊を糊で貼つてあるものがある、これにはワットマンも畫學紙もあつて、旅行用、スケッチ用に一寸便利であるが、水貼でない爲めに畫くとき紙が脹れて困る。